

# ふれあい情報

## 2024年1月24日(水) 第375号

■発行 日本退職者連合

■発行人 野田那智子

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11

&lt;TEL&gt; 03-5295-0507

&lt;FAX&gt; 03-5295-0541

&lt;e-mail&gt; ntr@sv.rengo-net.or.jp



## 日本退職者連合

# 第3回幹事会を開催

1月17日、退職者連合は第3回幹事会を開催し、役員交代、各種取り組み報告、各ブロックからの活動報告を受け、その内容について全体で共有しました。とくに「令和6年能登半島地震」の被災者の方へのお見舞いと被災地救援の取り組みについて全体で確認をいたしました。終了後に西村智奈美衆議院議員を講師に「認知症基本法」の学習会を開催し、法案作成時の主要な論点について認識を深めました。

## 人見会長あいさつ

本年もよろしくお願ひいたします。皆さんもご存じのよ

うに1月1日に石川県能登半島で大きな地震が発生しました。すでに222名の方がお亡くなりになり、道路、水道、電気の不通や家屋の倒壊など被災地では非常に苦しんでいる状況であります。お亡くなりになられた方にお悔やみを申し上げるとともに被災された皆様方にお見舞いを申し上げます。

一日も早い復旧・復興に向けて自治体や警察・消防、自衛隊等が救急活動を進めておりますが、私たちもできる限りの協力をしていきたいと思っております。当面、緊急カンパの取り組みをしていきますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

今年、世界的に選挙の年と言われております。既にこの1月13日に台湾の総統選挙が行われ、3月にはロシアで大統領選挙があり、そしてアメリカの大統領選挙が11月の5日に実施されます。そういう中で、様々な問題に対して、世界が協力して対処しているのが、大きな課題だと思っております。

日本では、1月26日から通常国会が開催されます。昨年からの問題になっている自民党の派閥による政治資金問題などに対して、一日も早く政治の信頼を取り戻していく対応を求めています。

健康保険証のマイナ保険証への切り替え問題について、政府はすでに今年の12月2日に健康保険証の廃止を決定していますが、私たちは引き続き健康保険証廃止の撤回を求めて取り組みを継続していきます。

さらに沖縄県辺野古区域の埋め立てについて、沖縄県の意見を無視して、国が一方的に代執行を行ったことは、日本の地方自治のあり方として

## 令和6年能登半島地震救援

### 「緊急カンパ」の取り組み

日本退職者連合は、連合本部と連携して「緊急カンパ」に取り組んでいます。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。  
(詳細については、日本退職者連合ホームページを参照してください)

大きな問題であることは言うまでもありません。いずれにしても困難な2024年のスタートであると思っております。そういう中で退職者連合として、様々な課題に向き合い、組織強化・拡大やジェンダー平等の推進などの取り組みを進めていきますので、皆様へのご協力をお願いして挨拶とします。

野田事務局長より

報告・提起

幹事会は、まず承認事項と幹事の交代(二名 山田太郎さん、石橋富二雄さん)について確認しました。

その後、野田事務局長、事務局および各ブロックより報告事項が行われました。

とくに「令和6年能登半島地震」による被災状況及び被災地救援の取り組みについて共有するとともに、今後も退職者連合として被災地の復旧・復興に向けて連合本部と連携して積極的に取り組んでいくことを全体で確認しました。

また、中間決算・監査についても報告し確認しました。

協議事項については、「2024年通常国会に向けた要求」を確認し、今後、要請行動を進めていくこととしました。

さらに、各種会議の開催及び「2024年度政策・制度要求実現2・8院内集会」に向けて準備を進めていくことを確認し、第3回幹事会を終了しました。

ブロックからの

活動報告

北海道ブロック

12月に連合北海道の現役員との意見交換会を実施して、現・退で連携した組織拡大の取り組みを要請した。また執行委員会において退連運動の報告を行い連携を深めた。

東北ブロック

山形県退連で12月に政策・制度要求の報告と意見交換を実施した。東北ブロックとしての統一要求は設定しなかった。ジェンダー平等の取り組みを本部と調整して進めていく。

関東ブロック

各県において様々な取り組みを行っているが、ブロックとしてこの間における報告する内容はとくにない。

東海ブロック

三重県で年に2回程度、100名規模の女性の集いを開催している。静岡県は広範囲なので6地域に分割して活動や定期総会を実施している。

北陸ブロック

4県すべてで会長が変わり、新たな体制で活動を進めてきている。能登半島地震では大変な状況になっているが、被災状況はまだ把握しきれていない。当面、退連としてできることを対応していく。

近畿ブロック

各府県における30周年行事が全て終了した。ジェンダー平等の取り組みとして、女性役員懇談会や幹事会参加などをお願いして、30%参加率を目指している。

中国ブロック

岡山県で女性の事務局長を選出した。12月にブロック会議を開催して、幹事会を山口県から島根県に交代した。

四国ブロック

各県において、自治体への要請行動を実施してきている。高知県では、県知事・市長選への対応をしてきた。

九州ブロック

3月にジェンダー平等学習会と幹事会を予定している。

学習会「共生社会の実現を推進するための

認知症基本法」について



幹事会終了後に西村智奈美衆議院議員を講師に迎え、超党派による「認知症基本法」の作成時における経緯と主要な論点について講演をしていただきました。「認知症基本法」については、2021年 超党派による議員連盟を設置し、

有識者や関係団体からのヒアリングを実施後、2023年6月に参議院本会議で可決されました。法案作成時において「認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支えあいながら共生する活力ある社会」という主旨の「共生社会の実現を推進するための」という表現を盛り込むことによって、「共生」と「予防」を車の両輪と位置づけて様々な社会モデルにつながっていくこととなる。などについて認識を深め、学習会を終了しました。

新幹事紹介



幹事 北陸ブロック (新潟県) 山田 太郎 さん



幹事 中国ブロック (島根県) 石橋 富二雄 さん